

## 峰岸電気工業(株) BCP対策(事業継続対策)の取り組み

実施日時: 2020年6月25日 AM9:00~11:00

場所: 峰岸電気工業株式会社 本社・作業所《自社にて実施》

プレゼンター: 間橋 保 (エコ推進事業部 部長)

### BCP対策とは

企業が自然災害や事故停電など予測不可能な緊急事態に見舞われた際に取るための対策で、重要業務の被害を最小限に抑え企業運営を滞らせないための行動方針。

### 峰岸電気工業(株)の電気設備(契約:スタンダードX)

#### 契約:スタンダードXとは

スマートメーターで計測した過去1年間の各月のピーク電力のうち最も大きい値を契約電力とするプラン。

#### 弊社電気設備

- |         |  |
|---------|--|
| ・太陽光発電  | 太陽光で発電した電力を事務所で活用<br>余剰電力は売電(系統連係)                   |
| ・エコキュート | 電気を使ってお湯を沸かす給湯器                                      |
| ・電気自動車  | バッテリー走行のみならず、バッテリーを蓄電池としても活用                         |
| ・V2H    | 電気自動車のバッテリーを蓄電池として活用できる機器<br>災害時・非常時にも太陽光との連係を可能にする。 |

### 峰岸電気工業(株)のBCP対策

- ・V2Hで電気自動車に貯めた走行バッテリーを事務所に供給  
バッテリー容量16Kwh(一般家庭の1日消費電力は約12Kwh)
- ・日中、太陽光で発電した電力は事務所で使用、余剰分は電気自動車に充電し、夜又は発電しない日中(雨天等)に電気自動車を蓄電池として活用し事務所内の電灯に使用する。
- ・事務所内オール電化なのでIH調理器具/エコキュートの使用も可能
- ・太陽光発電6kW
- ・V2Hの最大出力は6kW(単相3線式100V/200V)

### 本システムの導入理由

通常の太陽光の非常時は、太陽光発電中のみ自立運転コンセントから100Vコンセント1500W×2口用しか使用できない為、電力としては不十分。  
従来の蓄電池もバッテリー容量が、弊社の電気自動車の走行バッテリーより小さく非常時の出力も単相3線式100V/200V出力できるものが少ない為  
企業のBCP対策には不十分と判断し  
太陽光発電/V2H/電気自動車でのBCP対策を採用。

## 停電時、電気自動車から電源を供給する為の手順（自立運転放電操作）

### ①自立切替スイッチ切替

・通常はレバーが上、自立時(停電時)は下

①



### ②12V電源の接続

②-2、12Vケーブルを電源ソケットに挿し、車両ACCをON

②-3、12VケーブルをV2Hに挿す

※自立運転後、車⇄V2H間の12Vのケーブルは外し、キーをOFFにする。(車側のバッテリー上がり防止の為)

②-1



②-2



②-3



### ③充電コネクタを接続



### ④放電ボタンを押す



## 復旧時、商用電源の切替の為の手順（自立運転放電操作）

- ①自立切替スイッチ切替  
・レバーを上にあげる。



- ②停止ボタンを押す

